

漁船の安全性向上改造に関する研究

漁業生産工学部

研究の背景・目的

漁船漁業は人命喪失の危険が伴う産業の一つとされており、転覆などの重大事故を防ぎ漁船の安全性を高めることは安定した労働力確保の面からも急務の課題である。

特に景気低迷から新船建造が難しくなっており、既存船の安全性を向上させることが求められている。

研究成果

まき網漁船の漁獲能力を増すことなく、安全性を向上させる手法として、網置き場かさ上げ＋ブルワーク複板化について模型実験による検討を行った。オリジナルの船型では、向波中を航行する場合に危険な現象に陥る場合があることがわかった。網置き場かさ上げ＋ブルワーク複板化は安全性を向上させることがわかった。

本研究成果を元に、80トン型まき網漁船のブルワークを複板化し、網置き場を水密化する工事が実施された。



写真1:標準ブルワーク(転覆)



写真2:複板化ブルワーク(非転覆)

(漁船工学グループ: 松田秋彦)